

科目名	地域と社会			ナンバリング	RLA114	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	2単位
代表教員	菅野昌史	担当教員	山口憲二、金世煥、裴鍾民				

授業の概要	地域教養学科のメジャーのひとつである「地域と社会」では、社会科学に分類されるさまざまな授業科目が開講されている。その導入科目である本講義では、受講者がそれぞれの学問の基本的な思考方法を身に付け、「地域と社会」の科目群から主体的に科目を選択・学修できるようになることを目的とする。基本的に3回分の授業をひとつのまとまりとし、身近な出来事を題材に、それを経営学、法律学、社会学等の異なる視点から解説する。
到達目標	1. 授業内で扱われた経営学、法律学、社会学の基本用語について正確に説明することができる。 2. 授業内で扱われた出来事について、経営学、法律学、社会学の視点を踏まえ、自分の言葉で説明することができる。 3. 授業を通じて明らかになった自分の興味関心について説明することができる。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	テーマに関連する事項に関して、インターネットや文献資料等を検索し、あらかじめ疑問をもって授業に臨む。その上で、授業中には、その疑問は解決されたのか、また、あらたな疑問はないかを意識しながら話を聞き、随時メモをとるようにする。
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】
	○ 1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。
	○ 3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。
	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。
	○ 5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 授業内で扱われた経営学、法律学、社会学の基本用語について正確に説明することができる。	1. 授業内で扱われた経営学、法律学、社会学の基本用語を別の出来事の説明に応用することができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○				70%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○	○		30%
出席							加点はしないが、減点となることがある。

課題、評価のフィードバック	1. 毎回の授業で提出してもらったリアクションペーパーについては、次の時間にいくつかを紹介しコメントする。 2. 授業に関する質問や相談には随時応じる。 3. 最終評価に関しては、学生からの要請があれば、その根拠を示し、説明する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス	授業の概要、進め方について説明する。	担当:菅野
	第2回	いわき市の歴史	いわき市の歴史について、常磐炭鉱が果たした役割を中心に解説する。	担当:菅野
	第3回	地方自治体の活動は日常生活とどのように関わるのか？	地方自治体の活動が日常生活とどのように関わっているのか、具体的事例をもとに解説する。	担当:菅野
	第4回	地域を活性化するための地域ブランド戦略	地域ブランドとは何か、いわき市の活性化に向けた地域ブランドの役割について解説する。	担当:金
	第5回	地域ブランドは法律によってどのように保護されるのか？	地域ブランドを保護する制度である、地域団体商標制度、地理的保護制度について解説する。	担当:菅野
	第6回	流行はどのように成立するのか？	流行の成立について社会学の視点から解説する。	担当:菅野
	第7回	ショッピングセンターと地域社会	大手ショッピングセンターの進出と地元ショッピングセンターの対応、大手ショッピングセンターの進出と地域住民の消費生活行動の変化について考え、議論する。	担当:山口
	第8回	契約は絶対に守るべきか？	契約法の基礎、クーリング制度、消費者教育の意義等について解説する。	担当:菅野
	第9回	契約を守ることの基礎に何があるのか？	契約という制度の基礎にあるものについて社会学の視点から解説する。	担当:菅野
	第10回	ICT産業の変化と地域経済	ICT産業の変化による地域経済の役割の変化といわき市の活性化に向けたICT活動について解説する。	担当:斐
	第11回	地域社会における町内会の役割とは？	地域社会における町内会の役割、町内会という制度が抱える課題について解説する。	担当:菅野
	第12回	法の実現における市民・集団の役割とは？	選挙制度、集団訴訟等、法の実現における市民・集団の役割について解説する。	担当:菅野
	第13回	地域の社会情勢・雇用環境を考える	日本及び福島県の雇用情勢、将来のキャリアデザインについて解説する。	担当:菅野
	第14回	働く自分を守るための法律とは？	労働基準法、労働契約法、労働相談等の制度について解説する。	担当:菅野
	第15回	人と仕事はどのように結びつくのか？	仕事におけるネットワークの意義について、社会学の視点から解説する。	担当:菅野
	試験	定期試験は実施しない。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。ただし、ビデオ視聴、外部講師による講演を行うこともある。		
授業外学習の指示		授業内容に関連する書籍、新聞記事等を熟読し、疑問点をもって授業に臨む。授業中に配付された資料を中心に授業の内容を復習する。不明な点は必ず教員に質問する。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)		

教科書	とくに指定しない。
参考書	授業内で適宜指示する。
参考URLなど	授業内で適宜指示する。
その他	